

よりよく生きる

2学期の道徳科の授業と活動が終了！！

2学期の道徳科の授業や教育活動が全て終了しました。2学期も、ティームティーチングによる授業、道徳授業のルール、問答ゲーム、きほくタイムなど、道徳科の授業がより充実したものになるように、いろいろなことにチャレンジしながら取り組んできました。学級担任の先生が、授業の準備を入念に行ってきたことはもちろんですが、T2の先生や各学年部の先生方ともいろいろな協議をしながら、授業づくりに努めてきました。これらは、授業を通して、生徒の道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度がより高まることを一番の目的に取り組んできたことです。

特に2学期は、11月25日（火）に愛媛県特色ある道徳教育推進事業推進校中間発表会が開催され、多くの県内の先生方に、広見中学校の道徳の授業を見ていただきました。先生方からは、ここまでの取組の評価だけでなく、広見中学校の生徒が、いかに普段から道徳的価値を大切にして授業に臨み、学校生活を送っているかということを見ていただき、そこに対する高い評価もいただきました。これらの評価は、生徒の日頃の頑張りの賜物です。

2学期の全教育活動を通して、生徒の道徳性は確実に高まっていると感じています。生徒の素直さやひたむきさというよさ（強み）が生かされて、高まっていったのだと思います。ただ、現状に満足しては、前進していくことはできません。広見中学校の生徒の皆さんは、まだまだ大きな伸び代を持っています。今の時代は、道徳性の高さを持っていることが、世界標準から見ても自分を守る盾になっていくと思います（これは普遍的な真理だとも言えますが・・・）。これからも、道徳科の授業やいろいろな学校での活動を通して、生徒自身が道徳性を高め、よりよく生きることにつながっていくよう、教職員も一致団結して、教育活動に取り組んでいきたいと考えています。

保護者の皆様には、道徳通信を通じて、道徳に関する活動の様子を紹介してきました。御家庭で、道徳に関する話をする機会は持たれたでしょうか。少しでも、家庭で話し合う機会が増えていたとしたら幸いです。

明日から冬休みです。冬休みも、道徳科の授業で学んだことを生かし、充実した生活を過ごしてください。そして、1月8日（木）に皆さんが笑顔で登校することを期待しています。

3学期にも、道徳に関する学びは続いていきます（この学びは、一生続いていくものです）。生徒の皆さんが真剣に考え、話し合い、そして学びを深めていくことが、将来をよりよく生きる力になっていきます。今後も道徳の大切さを理解し、考えを深め、みんなでよりよい生き方を目指していきましょう！！



ウガンダ募金活動の様子